

- 02/04・中国株急落 マネー流出 春節明け上海株一時9%安 債務問題警戒再び
- ・メキシコ、今年も低成長 1%程度に 投資・消費不振続く
 - ・香港、昨年GDP1.2%減 大規模デモ響く 10年ぶりマイナス
 - ・英首相、FTAなし辞さず EUルールと決別 関税ゼロ維持は要求 < 1 >
- 02/05・車生産影響浮き彫り 新型肺炎、中国から部品滞る 現代自が韓国工場停止
- ・対イラン制裁を棚上げ EU、核合意維持へ配慮
 - ・ガソリン、ディーゼル車販売 英、35年に禁止前倒し HVも対象
- 02/06・トランプ氏、再選へ「米国第一」 一般教書演説で対決色 < 2 >
- ・米貿易赤字3年ぶり減 昨年、関税上げで対中17%減 輸出も11%減
 - ・デジタル通貨トップ会合 日欧など6中銀、4月に 決済など議論
 - ・トランプ大統領無罪評決 米弾劾裁判が終結
 - ・OPEC追加減産検討 ロシアと 新型肺炎で価格急落
- 02/07・中国、対米関税一部下げ 14日から 合意発行に合わせ
- ・インドとロシア急接近 北極油田開発に参画 ミサイル導入を確認 < 3 >
 - ・名目賃金6年ぶり減 昨年0.3% 時間外減、パート比は増
 - ・ファーウェイ使用巡り トランプ氏英首相に激高 FT報道
- 02/08・米雇用堅調22.5万人増 1月 新型肺炎で利下げ観測も
- 02/09・FRB資金供給、量的緩和に匹敵 半年で4000億ドル増 国際金融下支え < 4 >
- 02/10・経常黒字2年ぶり増 昨年20兆円 サービス収支、初の黒字 貿易黒字は減
- ・中国消費者物価5.4%上昇 1月 春節と新型肺炎影響
- 02/11・メルケル首相後継を断念 極右巡り混乱 後任選び白紙に
- ・アイルランド統一派躍進 総選挙 「連合王国」議論影響も
- 02/12・トランプ政権、インフラ1兆ドル投資 予算教書公表 < 5 >
- 米財政赤字「5年で半減」 選挙控え楽観的見通し
 - ・FRB短期国債購入縮小 議長議会証言、7月示唆 「事実上の量的緩和」転機
 - 中銀によるデジタル通貨導入「最前線で分析」
- 02/13・インド、首都圏議会選で与党大敗 モディ政権、揺らぐ支持
- ・フィリピンの米軍地位協定破棄 トランプ氏「構わない。節約できる」

<1>

英国はEUとの通商交渉で「FTAなし」も辞さない構えだ

	EU加盟国	カナダ型 (FTA)	オーストラリア型 (FTAなし)	合意なし
関税	ゼロ	98%の品目でゼロ	復活 自動車などは10%に	
通関手続き	なし	あり	あり	
EU規制・ルール	従う	調和めざす	従わず	

↓ ↓

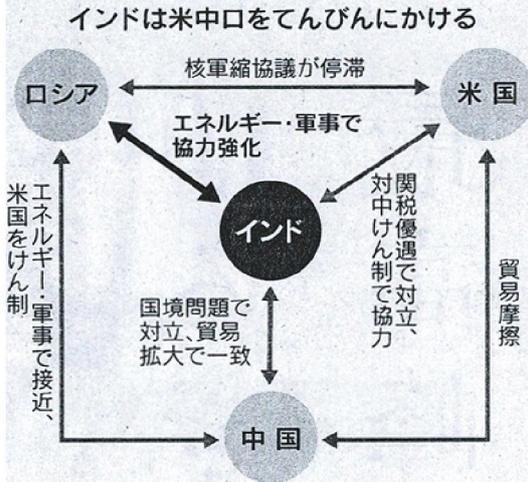
混乱回避へ必要最低限の協定？ 経済など大混乱の懸念も

<2>

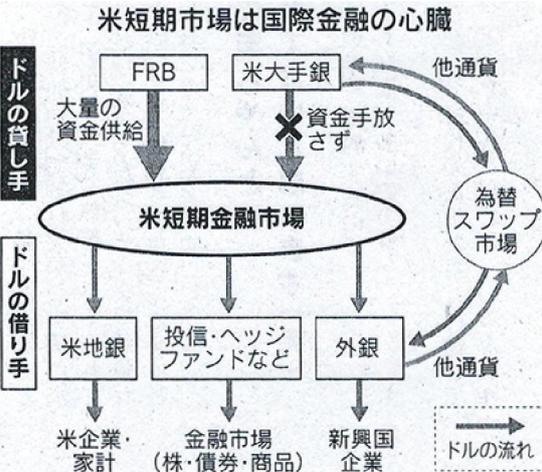
一般教書演説のポイント

- 「偉大な米国の復活」を開始した
- 米経済の衰退は終わり、「ブルーカラー好況」に
- N A F T A 見直しを実現
- 中国との貿易交渉で画期的な合意に署名
- 社会主義に米国の医療制度を破壊させない
- 国境の壁建設を継続
- アフガニスタンから米軍を撤収

<3>



<4>



<5>

